

1学期が終わる！ 友達と一緒に遊び、成長した！

コロナ禍の中での1学期でしたが、保護者の皆様のご協力により、臨時休園することなく、子ども達は元気に登園し、著しい成長を遂げました。子ども達の「やってみたい」「～できるようにになりたい」という興味関心・意欲が原動力となり、子ども達同士がつながっていきました。皆様のあたたかいご理解ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

暑さ厳しい日々が続きます。くれぐれも健康にはお気を付けください。2学期全員揃って元気に迎えらることを願っています。

私から見た子どもたち

こんなところが成長しました！ベスト3

【年少 たんぽぽ組】

◎毎朝お家の人と気持ちよくさよならをして、笑顔で登園できるようになった。

また、友達の登園を心から喜び、笑顔で迎える姿が多く見られた。

◎友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになった。

色水遊びや泥遊び、ごっこ遊びや制作等 一緒に話をしながら自分達で遊びを楽しむようになった。笑顔がたくさん見られるようになった。

◎食べたことがない給食のメニューにも挑戦し、食べれる給食の量が増えた。

(※現在の学校給食は実に献立メニューが豊富で、年少の子ども達には食べたことがないメニューがたくさんあります。)



【年長 さくら組】

◎友達を気にしないで、自分の思い(発想)で絵画や制作等表現できるようになった。(もちろん友達から多くの刺激を受け、学んでいます。)

◎友達との距離が近くなり、話をしながら一緒に自分達で遊びをつくりながら楽しむ姿が増えた。

◎足が痛くても自分で目標や挑戦したいことを決め、竹馬に向かう姿が多く見られた。その結果、ほとんどの子どもがバランスをとって上手に竹馬に乗れるようになった。



「やってみよう」「任せてみよう」の夏休みに！

いよいよ東京オリンピック 2020 が始まりました。コロナ禍の中での開催は大変心配ですが、オリンピック選手の競技に向かう全力投球の姿勢や精神力・集中力等、心を強く打たれます。

さて、1か月間の夏休み。子ども達がさらに自信をつけ、たくましく成長できるよう子ども達の「自分でやってみたい」という気持ちを大切に、知的好奇心の芽を伸ばす援助をしたり、お手伝い等人的役に立ち、喜んでもらえた嬉しさを体得させたりできるようご協力応援をよろしくお願いいたします。

子どもが考えようとしている時に周りの大人が、つい先走ってしゃべってしまい、子どもの前向きな気持ちをへこませてしまったり、子どもの言葉を奪ってしまったりすることがありませんか。また、子ども可愛さのあまり、「転ばぬ先の杖」で失敗しないように、大人が援助をしすぎてしまうことはありませんか。(私は待たなくて、つつい失敗します) 子どもは、考えている時や心揺さぶられた時、自分でいろいろ言葉を探して表現したり行動したりしようとしています。そんな時、あたたかく見守る“間”を大切にしたいものですね。待つことで、「もっと～したい」という探求心や思考力・表現力を育み、自律心を培うことにつながります。

失敗は成功のもと。失敗の中に学びはたくさんあります。オリンピック選手等アスリートは、悔しい思いをたくさん経験して今の自分を育てられていますね。

感動体験が子ども達の感性を磨く！ 輝く瞳 きらめく心★ ～たんぽぽ組の巻～

幼稚園では、五感(味覚・聴覚・臭覚・視覚・触覚)を働かせながら楽しく体験できるように、いろいろな環境を整えています。

先日スライムで子ども達は「気持ちいい」「冷たい」「ぷるんぷるん」と言いながら感触を楽しんでいました。それが今では、自分でメモリのあるコップを使って、洗濯のりと色水(絵の具を溶いた水)を友達と一緒に「ストップ!」と言いながら混ぜ、そこに魔法の水のホウ砂を教師にお願いして、作っています。その色鮮やかなこと。黄色と青色を混ぜて、違う色のスライムジュースを作ったり、クリームやビーズを載せてパフェを作ったり、自由自在です。子ども達の豪快さ・発想力には、驚きです。魔法の水の量によって、スライムの濃度が違い、伸びが違うことや色水の組み合わせにより、色の違いがあることにも自然に気が付いています。また、水遊びをしながら土にさわって、「ぷるんぷるん」「ぷよぷよ」の感触の気持ちよさに気づき、パンケーキを作ったり、それを葉っぱに入れてクッキーやまんじゅう(葉脈入り)を作ったり、夢中で遊んでいました。(大発見! その土は赤っぽい粘土質で、園庭の一部にしかない土だったので。)



子ども達のあそびは面白いほどに広がり、楽しんでいます。